

# 献血100回を迎えて・・・

2016年1月 舞子道場・藤原

献血は「身近にできる社会貢献」と考え、社会人になってから、30年以上続けているわけですが、今年の1月2日の献血で「100回」に到達しました。

その100回の達成を受け、道場のホームページに投稿を許可されましたので、レポート致します。

## ◆初めての献血

若かりし頃、会社で仕事をしていると、同じ田舎の大先輩に声をかけられました。

「しゅーぞーおー、お前、A型らしいな。〇〇日、空けとけ。調査役(今でいうと部長クラス)には話しておくから。」

その先輩は会社の労働組合の執行委員で、社員のご家族に新鮮血の輸血が必要になったらしく、A型の血液を探していたようです。田舎の大先輩に抗えるわけもなく、諾否を答える前に日時と場所を指示されました。

日本赤十字社が行っている献血ではありませんが、私にとって、この献血が人生最初の献血でありこれがきっかけで献血をするようになりました。

指定日に指定の病院に到着するとすぐに検査をされ、そのあとは待つこと半日。診察室に呼ばれ、採血が始まりました。200ccの注射器が血液で満たされると看護婦さんがカーテンの奥に消えて行きました。私以外にも数名動員されており、順番に採血されてました。

採血後、その大先輩は私ともう一人を連れて夕食を食べさせてくれました。「血を抜いたんだから、もっと栄養つけろ」と言いながら、肉・魚料理をどんどん頼んでくれました。もちろんビールも・・・

飲みながら患者のことを少し教えてくれたのですが、社員の姪っ子で中学生の女子。病名は白血病でした。快復して元気になっていることを信じたいです。

## ◆献血を続けている理由

身近にできる社会貢献というのがありますが、自分自身の健康維持にも役立ててます。

病院で血液検査をすると、お金がかかりますが、献血は無料で血液検査をしてくれます。もちろん病院並みの検査項目ではありませんが、健常者が自分の健康状態を把握するくらいの項目はあると思ってます。

1回の検査結果を見てもあまり意味はありませんが、長く続けると自分の血液の状態がわかってくるはずですよ。

実は私は採血した血液が、どう使われているか考えた事はなく、どこかで使われているんだろう程度にしか思いませんでした。

しかし、赤十字社から「要請」があったときは、私の血液で助かっている患者さんがいるんだと、あらためて実感しました。



ポイントカード、このカード1枚で3回、記念品がもらえます。毎回、コーヒーか紅茶をもらいます。

「要請」というのは患者と同じ型をもつ献血登録者に個別に電話をして献血を依頼する事です。

血小板だと採血後4日しか持ちませんし、同じ型でないと効果がないらしいです。

緊急に血液が必要になった場合に要請をされるわけですが、緊急ということは、重篤な患者さんがおられるということです。

厳しい話ですが、これが現実、私の血液でもよければ、これからも続けていきたいと考えてます。



私の献血カード

■次回献血の際は、このカードを必ずご持参ください。  
■献血のお問合せ等は、上記赤十字血液センターへお寄せください。

## ◆参考

献血の一定回数で表彰をしてもらいます。確か10、30、70、100回、100回以上はわかりません。10回ときはバッチ、30回は盃だったと思いますが、たび重なる転勤でどこかに行ってしまいました。いま手元にあるのは70回の表彰のときのもの(下の写真)、銀色のグラスをもらいました。100回の表彰では70回と同じグラスの金色のバージョンをもらえるはずです。



ところが、今回のレポートでは100回の表彰の記念品をお見せすることができません。表彰は、毎年、年末に1回、行うれしいので、まだ手元にありません。

## ◆その他の社会貢献

こっちは「意思表示」だけで実際に貢献したわけではありませんが・・・

献血以外にも臓器移植に関する意思表示のカードもあります。

いろんな考えがありますので、人それぞれですが、私はこれも自分の意思を表明し、常時、持ってます。

